

自閉症スペクトラム児者への医療支援 －障害特性に寄り添う工夫－



社会福祉法人花ノ木 花ノ木医療福祉センター（京都府亀岡市）

歯科衛生士 高原 牧

略 歴

平成6年3月 京都歯科医療技術専門学校 卒業
平成6年4月 社団法人 京都府歯科医師会 京都歯科サービスセンター 入局
平成15年4月 京都歯科サービスセンター中央診療所 主査
平成17年4月 京都歯科サービスセンター洛西診療所 主査
平成18年3月 日本福祉大学 経済学部経済開発学科 卒業
平成18年4月 社会福祉法人花ノ木 花ノ木医療福祉センター 非常勤
平成19年10月 社会福祉法人花ノ木 花ノ木医療福祉センター 常勤
現在に至る

資 格

平成6年4月 歯科衛生士 資格 取得
平成13年12月 介護支援専門員（第2752号）取得
平成17年12月 自閉症スペクトラム支援士 上級（エキスパート）取得
平成20年10月 一般社団法人 日本障害者歯科学会 特例指導歯科衛生士

近年、自閉症スペクトラム児者に対する医療支援は、様々な分野で注目されています。特に歯科医療においては、自閉症スペクトラム児者のみならず「定型発達」と言われる範囲に位置する子どもたちにとっても苦手だと感じる人が多いですので、ご家族やさまざまな分野の専門家が受診時の支援を工夫されているのを見聞します。

歯科では、入室と同時に診療室に充満する独特のにおいが嗅覚を刺激し、診療が始まると直視することが不可能な部分に何らかの処置がなされます。その処置は、「キーン」と耳を劈くような機械音や、頭部全体に響く振動、薬品の匂いと味、まぶしい光など刺激的な環境下で行われるため、嫌悪感はますます増幅します。開口を強いられたまま処置が黙々と進められ、次に何をされるのか分からないことも苦手意識をもたせる一因です。そして、そのつらさを乗り越えて1度診察が終了したと思っても、また次の予約を取らなければならず、「おしまいの見通し」が持ちにくいという難点もあります。

自閉症スペクトラム児者においては、その障害特性から起因する感じ方のアンバランスさや過敏さにより受診が困難になることが多いため、特性に合わせた支援が必要不可欠です。支援にあたり重要なことは、「障害特性の理解すること」と「個々に合わせた工夫をすること」です。支援を考えるときに細かなルールはたくさんありますが、こうすれば絶対に大丈夫というマニュアルはありません。ですから、個別の問診から得る情報や他科との連携から得る情報を支援に生かすことが大切です。全く情報を得ず、何も知らない状況下で行う手探りの支援は、意味を持たないだけでなく混乱の原因にもなりかねません。たとえ偶然上手く出来たとしても、次につなげることはできません。ですから、各症例についてその都度検討し、「なぜ出来たのか」「なぜ出来なかったのか」の理由を知らなければ良い支援は見いだせません。

今回は、自閉症スペクトラムの障害特性と医療支援の実際について、ご報告させていただきます。